

令和5年 第1回

福生市教育委員会臨時会議事録

日 時：令和5年8月3日（木）午前10時00分

場 所：福生市役所第二棟4階委員会室

1 出席委員	教育長	石 田 周
	委員	加 藤 孝 子
	委員	渡 辺 浩 行
	委員	野 口 哲 也
	委員	新 藤 美知子
	委員	宇 田 剛

2 事務局(説明員)	教育長(再掲)	石 田 周
	教科用図書選定協議会委員長	
	福生第一小学校校長	高 瀬 智 子
	教育部長	村 野 和 彦
	参事兼教育指導課長	勝 山 朗
	教育総務課長	大 楠 功 晃
	教育部主幹	吉 本 一 也
	教育支援課長	森 田 尚 之
	スポーツ推進課長	近 野 淳
	公民館長	佐 藤 克 年
	図書館長	森 本 恭 子
	指導主事	竹 内 秀 礼
	指導主事	東小川 智 史
	指導主事	田 畑 圭 洋
	生涯学習推進係長	澤 井 順 子

3 傍聴人 18人

4 議事日程

日程第 1 会議録署名委員の指名

日程第 2 議案第34号 福生市立小学校令和6年度使用教科用図書の採択について

日程第 3 議案第35号 福生市立小・中学校特別支援学級令和6年度使用教科用図書の採択について

本会議の結果は、別紙記載のとおりである。

教育長 _____

署名委員 _____

署名委員 _____

会議録作成者 仙波 成博

【教育長】 それでは、定足数に達しておりますので、ただ今から令和5年第1回福生市教育委員会臨時会を開会いたします。これより本日の会議を開きます。

これより日程に入ります。日程第1、会議録署名委員の指名を行います。福生市教育委員会会議規則第19条の規定に基づき、渡辺浩行委員、加藤孝子委員を署名委員として指名いたします。

次に、日程第2、議案第34号、福生市立小学校令和6年度使用教科用図書の採択についてを議題といたします。

まず、野口委員からあらかじめ発言の申し出がございましたので、野口委員、お願いします。

【野口委員】 本日の議事は教科書採択となっております。教科書採択は教育委員会が行うことになっており、私たち教育委員の権限と責任の下に行われるものであります。本市ではこれまで、開かれた教科書採択の趣旨にのっとり、小学校教科用図書選定協議会に地域や保護者の代表にも入っていただくなど、配慮してまいりました。本日も採択の過程を公開し、市民の皆さま方にも分かりやすい採択を行おうとしております。公正・公平な採択を行うため、私たちの議論の場が静謐（せいひつ）な環境の下、どこからも圧力を受けることなく、自由な雰囲気の中で行うことができるよう、私たちの議論の妨げになるような行為の禁止を徹底していただけたらと思います。よろしく願いいたします。以上です。

【教育長】 承知いたしました。万一、議事の進行の妨げになるような行為がございましたら、教育委員会傍聴規則にのっとり、速やかに適切に対処することといたします。事務局の方々、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、本日の議事の進行の仕方についてでございます。初めに、議題と採択事務に係る内容を事務局から説明させていただきます。次に、諮問いたしました教科用図書の調査結果について、令和6年度小学校教科用図書選定協議会、高瀬委員長より御説明をいただき、その後、国語から順に委員の皆さまからの質疑の時間を設けております。全ての質疑が終わりましたら、教科書ごとに委員により御意見をいただきまして、採択してまいりたいと存じます。このような進め方でよろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、そのように進めさせていただきます。

初めに、議題と採択事務について、吉本主幹より説明をお願いいたします。

【教育部主幹】 日程第2、議案第34号、福生市立小学校令和6年度使用教科用図書の採択につきまして御説明申し上げます。

初めに、資料1をご覧ください。本議案においては、令和6年度に本市小学校で使用する教科用図書として、国語、書写、社会、地図、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、保健、英語、道徳、11教科計13点について、協議の上、採択いただきたく存じます。

なお、資料等に記載してございます国語等の名称につきましては、令和5年4月に文部科学省から発刊された「小学校用教科書目録（令和6年度使用）」に示されている種目名を使用しておりますことを、ご承知おきください。

それでは、本議案に関わるこれまでの事務等について、大きく2点、御説明申し上げます。一点は、全ての教科書を調査対象とした採択資料の作成についてでございます。資料の作成に当たりましては、福生市立学校令和6年度使用教科用図書採択要領に基づき、教科用図書選定協議会及び教科用図書の調査委員会を設置いたしました。これらの委員会の目的は、本市の小学生に最も適した教科書を教育委員の皆さまに選定していただくための資料を作成することにございました。選定協議会及び調査委員会の委員の選定につきましては、教科書発行者その他の教科用図書の採択に直接の利害関係を有するものでないことを確認してございます。また、それぞれの会の初回、初めの会におきまして、適正かつ公正な採択の確保について、全ての委員に説明をしてございます。

作成しました資料は、配布をしてございます資料2「教科用図書選定協議会報告書（様式1）小学校用教科書」となっております。おめくりいただきまして、この資料の左側の列に記載してございます、内容、構成上の工夫、特徴の3つの観点については、各調査委員会で調査研究した内容をもとに選定協議会で協議をし、こちらの様式1を作成してございます。

続きまして、2点目、教科書展示会に関わる報告についてでございます。資料3「令和6年度小学校使用教科用図書、教科書展示会実施状況等について」をご覧ください。令和5年5月31日から7月3日までの教科書の特別展示会及び法定展示会を、福生市役所を会場として開催してございます。

資料の3「来会者数」をご覧ください。今年度の教科書展示には、合計24名の来会者がありました。この来会者とは、教科書展示会来会者票を提出された方の数を示してございます。実際には教科書を御覧になったものの、本票を提出されなかった市民の方も多数いらっしゃったのではないかと考えてございます。また、アンケートにつきましては、資料の4にございます13通の御意見をいただいております。なお、資料2及び資料3につきましては、事前に教育委員の皆さまにお届けし、御覧いただいているところでございますが、本日改めて配布をさせていただいております。私からの説明は以上となります。

【教育長】 説明が終わりました。御質問等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、質疑を閉じたいと思います。

暫時休憩いたします。

【教育長】 休憩前に引き続き、会議を開きます。それでは、選定協議会、高瀬委員長より調査報告をお願いいたします。高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 福生第一小学校校長の高瀬智子でございます。令和6年度小学校教科用図書選定協議会委員長として、全ての教科における調査研究の結果につきまして御報告を申し上げます。

御報告の仕方ですが、各教育委員の皆さまに提出しました「教科用図書選定協議会報告書（様式1）」の順番に、各教科書の特徴について要約して報告いたします。なお、国語調査委員会では国語と書写、社会調査委員会では社会と地図について、体育調査委員会では保健の教

科用図書を調査しておりますことを、ご承知おきください。

国語は3社ございます。共通事項を申し上げます。子どもたちが自ら学びを進めていくことができるよう、学び方が定着するような構造となっています。また、単元末や巻末付録にはたくさん図書が紹介されています。さらに、二次元コードを掲載し、学習に役立つさまざまな資料や情報をウェブサイトで閲覧できるようになっています。

1社目、東京書籍『新編 新しい国語』です。単元ごとに言葉の力が明示してあり、何をどのように学ぶのかが見通せるようになっています。入門期でつまずきやすい特殊音節と助詞について特別支援教育の知見を生かして開発された多層指導モデル、MIMの指導法が取り入れられています。

2社目、教育出版『ひろがることば 小学国語』です。学習の手引きでは、上段に4段階の学習活動、下段に学習活動を支える思考ツールや児童の反応例が掲載され、児童の学びが深まるよう工夫されています。話型、文型、学習用語など、必修事項を振り返るための巻末付録が充実しています。

3社目、光村図書出版『国語』です。巻頭、ブックインブック「国語の学びを見渡そう」では、領域別に学習内容が整理され、学び方と身につける力が見渡せるようになっています。各領域の単元冒頭や手引き冒頭の「問いを持とう」では、子どもの課題意識や目的意識を掘り起こし、学習のめあてにつなげるよう構成されています。

国語については以上です。

続きまして、書写は3社でございます。共通事項を申し上げます。毛筆での学習を硬筆に生かせるよう、毛筆学習の後に硬筆課題が設けられています。また、文字の書体や色などはユニバーサルデザインに配慮されています。さらに、二次元コードを掲載し、学習の参考になる動画等をウェブサイトで閲覧できます。

1社目、東京書籍『新編 新しい書写』です。文字を整えて書くための大事なポイントが「書写のかぎ」として示されています。また、「書写のかぎ」を軸とした課題解決型の学習過程が設定されています。教材文字と書き込み欄を上下に配置することで、左利きでも教材文字が隠れてしまわないよう配慮されています。

2社目、教育出版『小学書写』です。学習の進め方では、1単位時間の学習の流れに沿って諸事例や活動写真が示され、子どもたちが自らの課題を解決する学び方を見通せるようになっています。高学年では、ほぼ全ての教材において朱墨と薄墨を使った図版が掲載され、基本の筆遣いが確実に定着するよう工夫されています。

3社目、光村図書出版『書写』です。国語教科書と連動できる教材が各学年に設定され、国語と一体的に扱うことで、学習活動に必然性が生まれるように構成されています。

書写の学習が始まる第1学年と毛筆の学習が始まる第3学年にスタートブックが掲載され、硬筆、毛筆の入門期における基本が網羅されています。

書写については以上です。

社会は3社ございます。共通事項を申し上げます。いずれの教科書も問題解決的な学習過程に沿って学習できる構成になっています。1人1台端末の活用に対応し、二次元コードから閲覧できる資料や学習コンテンツが多く添えられ、子どもたちが自らの課題に応じて調べるため

の工夫がされています。

1社目、東京書籍『新編 新しい社会』です。各見開きに掲載の「まなびのポイント」では、学習段階に応じた学習活動が例示されています。まとめる段階では、多様な表現活動がワークシート形式で例示されています。また、学習技能を系統的に習得できるように、学び方コーナーが紙面の随所に設けられています。

2社目、教育出版『小学社会』です。単位時間ごとの中心的な問いである「この時間の問い」を明示し、学習が問いで展開するように構成されています。つかむ段階では、学習計画の立て方が詳しく例示されています。掲載されている資料には、適宜着目ポイントが示され、資料の読み取りを支援しています。

3社目、日本文教出版『小学社会』です。問題解決的な学習過程と対応した脚注インデックスにより、主にどのような力を身につける段階の学習であるかが分かるようになっています。各単元ではSDGsと関連のある現代的な諸課題を取り上げ、巻末とじ込みの目標シールを使った学習に取り組めるようになっています。

社会については以上です。

地図は2社でございます。共通事項を申し上げます。地図の仕組みなどを学べる導入ページが設けられ、第3学年の使用に対応しています。また、地図資料としての側面に加え、統計や各地の特色等も盛り込まれ、資料集としても活用できるようになっています。さらに1人1台端末の活用に対応し、二次元コードから閲覧できる資料や学習コンテンツが多く添えられています。

1社目、東京書籍『新編 新しい地図帳』です。問いと作業のコーナーでは、地図から考えや発想を膨らませる問いが明示され、クイズや作業に取り組みながら楽しく地図学習ができるように工夫されています。また、学びをサポートする挿絵が随所に掲載され、児童が学びの手がかりを見つけやすいように工夫されています。

2社目、帝国書院『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』です。発達の段階に応じて、要素を精選した地図から詳しい地図まで、使い分けができるようになっています。掲載地域に関連するイラストが豊富に盛り込まれ、地域の歴史や特産物等の理解が深まるように構成されています。自主学習を進める中で地図活用技能や知識が身につくように、地図マスターへの道が設けられています。

地図については以上です。

算数は6社でございます。共通事項を申し上げます。ユニバーサルデザインの視点から、誰もが読みやすいとされているUD書体が採用されています。また、デジタルコンテンツを設定し、解き方を繰り返し見たり、練習問題に追加でチャレンジできるようになっています。

1社目、東京書籍『新編 新しい算数』です。学力調査などでつまずきの多い問題に対しては、教科書にない追加の練習問題や理解を促進する動画があります。単元の前半は、資質・能力を確実に育むために、吹き出しや補助問題、補助発問などが丁寧に設定されています。

2社目、大日本図書『新版 たのしい算数』です。冒頭に児童に意識させたい数学的な見方・考え方がまとめてあり、基礎・基本の定着を図る上で工夫がされています。算数の面白い問題や話題などを豊富に用意したコラム「ふくろう先生になるほど算数教室」が充実していま

す。

3社目、学校図書『みんなと学ぶ小学算数』です。算数パトロール隊のページを設け、児童がどこでつまずきやすいのかを課題形式で掲載しています。「はてなを発見」のページを設定しており、算数がより身近に感じられ、主体的な学びが自然に実現できるようになっています。

4社目、教育出版『小学算数』です。末尾にある「学びのマップ」を用いて、既習との関連を調べて学習内容を系統的に捉えることができ、基礎的・基本的な学習の定着を図る上での工夫がされています。学習のまとめりごとに、課題の発見から、まとめ、練習と、同じような展開で構成されています。

5社目、新興出版社啓林館『わくわく算数』です。協働的な学びを通して分かったことを個に応じて定着を図れるよう、演習や復習のコーナーを設けています。算数科で学んだことを身の回りの場面で活用したり、探求したりするコーナーがあり、児童の興味・関心が引き出される工夫がされています。

6社目、日本文教出版『小学算数』です。自学自習できるよう、新たな単元に入る前に個々の問題全てにヒントと答えが用意されています。基礎的・基本的な計算領域を前半に配置して、確実に定着できるよう配慮してあります。問題解決的な学習過程の着眼点が明確になるよう工夫されています。

算数については以上です。

理科は6社でございます。共通事項を申し上げます。全ての教科書で児童に問題解決の力がつくように問題解決の過程を重視するような書き方がされています。また、デジタルコンテンツの充実も図られています。

1社目、東京書籍『新編 新しい理科』です。単元の導入で問題をつかむための工夫がされており、まとめと問題が正対した表現になっています。巻頭に前年度に学んだこと、巻末に次年度に学ぶことを示すことで、児童自身が学びの連続性を意識できる工夫がされています。

2社目、大日本図書『新版 たのしい理科』です。問題を児童が自分で見いだすことができるように工夫されており、問題解決に大切なポイントが示されています。問題解決の過程の見出しが3色で分けられており、自分の問題解決の進捗を確認することができます。

3社目、学校図書『みんなと学ぶ小学校理科』です。問題場面が明確で、自然な流れで問題を解決でき、それを繰り返すことができるように工夫されています。資質・能力を理科モンスターとして示し、単元の特性に沿って絞って示すことで、育成する資質・能力を明確にしています。

4社目、教育出版『未来をひらく 小学理科』です。学習の系統を学習のつながりとして繰り返し示しており、学んだことを児童が系統的に身につけられるようにしています。学習後に自分の成長が分かるようになっており、次の学びに向かう力を育成できるように配慮されています。

5社目、信州教育出版社『楽しい理科』です。問題解決の過程を学びのラインでつなぐことで、児童自身が見通しを持って主体的に学べるように配慮されています。単元導入等に「思い出そう」を設け、理科の既習内容や他教科での学習、生活経験などを振り返って関係づけています。

6社目、新興出版社啓林館『わくわく理科』です。学習したことの整理や理解の確認ができるように、問題解決の過程を場面ごとに設定しています。見開きの写真や絵図などを配慮し、児童の興味・関心や問題意識を高められるようにしています。

理科については以上です。

生活は7社でございます。

共通事項を申し上げます。上下巻で構成され、上巻の巻頭ではスタートカリキュラムに関する内容、下巻の巻末では2年間の学びを振り返り、成長を実感できる内容となっています。児童の学習意欲を喚起するための写真やイラストが充実しています。また、二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツを活用することで、児童の学びをサポートするつくりとなっています。

1社目、東京書籍『新編 新しい生活』です。児童が生活科の見方・考え方を生かしている姿が、学習過程に沿って具体的に例示されています。上下巻巻末に掲載の活動便利手帳では、活動に即して身につける習慣や技能、学び方がまとめられ、活動に応じて参照することができます。

2社目、大日本図書『新版 たのしいせいかつ』です。「やってみよう生活科」では、多様な学習活動が例示され、生活科の学びを見通すことができます。子どもの意欲を引き出し、活動の視点を示唆する表現として、ビンゴカードを活用しています。自分の思いを文字にして振り返るための書き込み欄が充実しています。

3社目、学校図書『みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ』です。單元ごとにキャラクターを設定し、単元のストーリーを大切にした構成となっています。活動の連続性を重視し、見開き右下で、活動と次の活動をつなぐように表現されています。物知りノートでは、教材が複数示され、児童の実態等に応じた課題の選択ができるように工夫されています。

4社目、教育出版『生活』です。生活科で育む資質・能力がサイコロで示され、児童が学習のめあてを明確につかむことができるように工夫されています。学び方を身につけることができるように、学習場面ごとに子どもたちの興味や関心を喚起する名称が付けられています。

5社目、信州教育出版社『生活』です。地域や四季をテーマにした単元が充実しており、直接体験を通して学びを深めるように内容が構成されています。具体的な活動や体験と一体となった表現活動が重視され、観察カードや日記、手紙など、多様な表現活動が要所で示されています。

6社目、光村図書出版『せいかつたんけんたい』です。学習活動の流れと資料が本編と資料編に分類・整理され、すっきりと見やすくなっています。各単元が、導入、展開、振り返りの3段階で構成され、学習過程を見通しやすい構成となっています。児童に親しみのある絵本作家のイラストが採用されています。

7社目、新興出版社啓林館『わくわくせいかつ』『いきいきせいかつ』です。紙面右下にめくり言葉を設定し、活動の中で生まれた児童の気付きや思いが次の活動につながり、気付きの質が高まる構成となっています。巻末の「びっくり図鑑」では、必要に応じて活用できる豊富な資料が掲載されています。

生活については以上です。

音楽は2社でございます。教科用図書の共通事項を申し上げます。学習指導要領の目標及び

内容を踏まえて、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞がバランスよく設定されています。二次元コードを掲載し、学習に役立つ資料をウェブサイトから入手することができます。

1社目、教育出版『小学音楽 音楽のおくりもの』です。「まなびナビ」では、音楽的思考を促す手がかりとなるように、比較検討などのポイントが明示されています。歌唱教材では、歌詞に忠実な写真が掲載され、歌詞の世界を想像しやすくなっています。1つのめあてに特化した内容で題材が構成され、次の題材へと自然とつながるように工夫されています。

2社目、教育芸術社『小学生の音楽』です。「考える」「見つける」「演奏する」など、分かりやすい言葉で学習の流れが明示されています。題材が系統的に配列され、学習の積み重ねを行いやすい構成になっています。

スタートカリキュラムや中学校への接続を考えた内容が充実しており、著作権やネットモラルなども発達の段階に合わせて取り上げられています。

音楽については以上です。

図画工作科は2社でございます。共通事項を申し上げます。視覚的に分かりやすく、写真やイラストが多く掲載されています。また、デジタルコンテンツの内容が充実しています。

1社目、開隆堂出版『図画工作』です。課題発見、選択の例示が多く、課題解決についてのヒントが写真で載っています。また、学校の遊具など身近な材料が多く、作品をイメージしやすくなっています。内容が関連するページが前後に配置されており、学習の系統性に配慮されています。

2社目、日本文教出版『図画工作』です。学習のめあてが書かれており、児童が授業のゴールイメージを持ちやすくなっています。また、各分野において児童の発達段階に配慮した題材や道具を扱っています。対話的に活動や制作が進められるように、鑑賞がどの単元でも掲載されています。

図画工作については以上です。

家庭は2社でございます。共通事項を申し上げます。基礎・基本の定着が図られるように、3ステップで構成、配列されています。実習に役立つ写真やイラスト資料、1人1台端末に対応したデジタルコンテンツが掲載されています。さらに包丁や箸の持ち方、針と糸の持ち方等で右利き・左利きの両方の説明があり、児童の多様性に配慮されている点も共通しています。

1社目、東京書籍『新編 新しい家庭』です。全ての題材に学習のめあてと振り返りを設け、学習内容が定着するように工夫しています。「家庭科の窓」の欄に、家庭科における見方・考え方のうち、どの視点を使って学習を進めていったらよいかを明確に示されています。

2社目、開隆堂出版『わたしたちの家庭科』です。平易なことから難しいことへと系統的に学習を積み上げることができるようになっています。学んだことを生かした活動例が具体的に挙げられており、生活を自分ごととして捉えて実践意欲を高められる工夫があります。

家庭については以上です。

保健は6社でございます。共通事項を申し上げます。どの教科書会社も問題解決型の学習展開を取り入れています。動画やシミュレーション等を含んだデジタルコンテンツへの二次元コードが充実しており、学びのサポートにつなげることができます。

1社目、東京書籍『新編 新しい保健』です。資料についてはスキルマークの記載があり、

児童に身につけてほしいスキルが分かりやすく掲載されています。課題発見をし、本書や資料等を用いて調査を行い、課題解決をする、といった構成となっています。主に調べたり話し合ったりする活動などが見られます。

2社目、大日本図書『新版 たのしい保健』です。より現在に近いデータが表記されているため、児童が課題設定をしやすくなっています。学習した内容が次の学習につながるよう単元構成がなされており、児童が見通しを持って学習に取り組むことができるように工夫されています。

3社目、大修館書店『新 小学校 保健』です。身近な生活の中から課題を発見する活動や、友達と話し合い、互いの考え方を共有するための活動が含まれています。運動領域の学習内容を積極的に取り上げていたり、他の教科の関連も示されており、教科横断的な学習ができるように工夫されています。

4社目、文教社『新 わたしたちの保健』です。学習課題を見つけ、解決の方法を考える際、課題解決学習を基本とした構成となっています。学習のスタート時に学習内容への動機付けを図る文言が記載されています。

また、学習した内容から継続した思考を促す工夫がされています。

5社目、光文書院『小学保健』です。章ごとに学習内容を身近に感じられるようなストーリー形式の漫画があったり、図や絵が示されたりしています。単元内のコーナーや資料ページなどで、運動、食育、防犯、防災、SDG sなどの課題に対応した情報が豊富に掲載されています。

6社目、Gakken『新・みんなの保健』です。決まった学習の流れを繰り返すことで探求しやすいよう工夫されています。また、身近な問題を取り上げ、児童自身の問題として取り組むことができるように工夫されています。話し合う、表現する、記述する、などの言語活動を随所に設けています。

保健については以上です。

英語は6社でございます。共通事項を申し上げます。弱視の児童にも読みやすく、書き文字として正しい形のユニバーサルデザインフォントを採用しており、色覚特性のある児童も学習しやすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。また、二次元コードがあり、タブレットで読み取り、音声や動画等を閲覧できます。

1社目、東京書籍『NEW HORIZON Elementary』です。二次元コードから資料を閲覧できるようになっており、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことができる工夫がされています。見通しを持って単元の学習を行うために、登場人物の質問に答える形で自分が伝えたいことを考える、ユアプランが掲載されています。

2社目、開隆堂出版『Junior Sunshine』です。1つの単元の中に4つのアクティビティーが設定されており、児童が多様な方法で主体的に学習に取り組めるようになっています。内容に関する単語は、付属のワードブックで確かめることができるように工夫されています。音声や映像のデジタルコンテンツが充実しています。

3社目、三省堂『CROWN Jr』です。教科書に出てくる語句や表現は、新出のものと中学年までに既習のものが織り交ぜられていて、繰り返し取り組むことで無理なく身につけら

れるようになっていきます。各パートで身につけた表現がレッスンの最終活動につながっています。また、音声や映像を使った教材もあります。

4社目、教育出版『ONE WORLD Smiles』です。アクティビティーは必然性のある活動が設定され、単元末には3観点による振り返りができるようになっています。各単元、インプットからアウトプットへ、易しい活動から少しずつ発信する活動ができる構成であり、1つの単元は基本的に7時間配当になっています。

5社目、光村図書出版『Here We Go!』です。基礎的な知識及び技能を着実に習得できるように工夫してあります。段階的に難易度が高くなるように教材が配列されています。さまざまな国の児童にその国の良いところ等をインタビューした動画が用意されており、外国の生活や文化への理解を促す工夫があります。

6社目、新興出版社啓林館『Blue Sky elementary』です。インプットとアウトプットを繰り返し、語彙（ごい）や表現に慣れ親しむことができるようになっています。英語を聞いた上で、練習、実践となっており、学習に取り組みやすい工夫がされています。巻末に会話を楽しむフレーズ集があり、コミュニケーションの際に活用できます。

英語については以上です。

道徳は6社でございます。共通事項を申し上げます。いずれの教科書の教材も、場面状況を理解し、登場人物の思いを考え、自己の心を見つめることができる構成になっています。

1社目、東京書籍『新編 新しい道徳』です。自分の生き方を考える内容では、発達の段階に応じたテーマを持って設定し、考えたいことを示しています。第4学年以上は心情円が巻末にあり、二次元コードで関連する動画やイラストなど補充資料を見ることができます。

2社目、教育出版『小学道徳 はばたこう明日へ』です。文章だけでなく、イラストや漫画など、視覚的に捉えて考える工夫がしてあります。命、いじめ、情報、自然、感謝、共生に関わる教材を色分けし、コラムを含めたユニットを構成しています。

3社目、光村図書出版『道徳 きみがいちばんひかるとき』です。長く親しまれている教材と、今日的な話題・課題を取り上げた教材が掲載されています。教材の内容項目を分かりやすくしたイラストによる説明や動画があります。主人公の気持ちを考えることができる視点について記載があります。

4社目、日本文教出版『小学道徳 生きる力』「道徳ノート」です。第1学年にはスタートカリキュラムを、第6学年には中学への接続を意識した教材があります。デジタルコンテンツで関連した資料などを見ることができます。別冊の「道徳ノート」では、学びの足跡を残す工夫がされています。

5社目、光文書院『小学道徳 ゆたかな心』です。著名な人物、実話、実生活に直結した話など、発達の段階に合わせて考えやすい教材になっています。学習や行事など児童の体験と時期を合わせた教材配列であるとともに、教材文が40あり、児童の実態によって選択できる工夫があります。

6社目、Gakken『新版 みんなの道徳』です。11のテーマで分類し、児童が自己を見つめ、考えを交流することができる教材が取り上げられています。また、教材ごとに「考えよう」という2点ほどの問いがあり、児童への発問に生かす工夫がされています。

道徳については以上です。これで調査報告を終わります。

【教育長】 高瀬先生、御説明ありがとうございました。

それでは、これから質疑に入りたいと思います。教育委員の皆さまには全ての教科書について既に調査を個々していただいておりますが、本日はそれを踏まえまして改めて御質問等をしていただき、内容を深めてまいりたいと思っております。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、先ほどの順番で質疑を進めていきたいと思います。初めに、国語についていかがでしょうか。新藤委員。

【新藤委員】 国語科については、主体的、対話的で、深い学びの実現を図ることが目指されて、言語活動の向上を目指した授業の改善がこれまで以上に重要になってくるというふうに思っています。このような言語活動の扱いについて、この点から各社の特徴を教えてください。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 東京都教育委員会の調査研究資料によりますと、言語活動別の単元数は、光村図書出版が3社の中では最も多く設定されています。各社の特徴ですが、東京書籍では、話すこと、聞くことの説明、報告等に関する言語活動が多く設定されています。教育出版では、書くことの「説明的な文章を書く」に関する言語活動が多く設定されています。光村図書出版では、話すこと、聞くことの質問・インタビューと、少人数・学級全体での話し合いと、書くことの「実用的な文章を書く」「文学的な文章を書く」に関する言語活動が多く設定されております。

【教育長】 ありがとうございます。他いかがでしょうか。宇田委員。

【宇田委員】 今、質疑で言語活動が出てきたわけで、言語活動っていうのは国語科を要として行うということになっているわけですし、また、小学校では国語の授業が一番多いですね。ですから非常に国語って重要なんですけども、その中で特に今、読むことっていうのは全国的にも、それから東京都でも、それから本市でも課題になって。読解力のことなんですけど。

やっぱり読むことの力をつけるには、いろいろな形の物語的な作品の数が問題になってくると思うんですけど、その辺どうなんでしょう。多い教科書なんかがありましたでしょうか。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 東京都教育委員会の調査研究資料によりますと、作品数の最も多い教科書は、203点で東京書籍、次いで202点の光村図書出版となります。文種別作品

数で見ますと、東京書籍は説明的な文章、光村図書出版は文学的な文章及び詩歌の掲載が多いのが特徴となっております。

【教育長】 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。加藤委員。

【加藤委員】 福生市では福生市子ども読書活動推進計画がありますね。各学校でこの推進計画に基づいて読書活動を推進していると思うんですけども、小学校1年生から6年生まで子どもたちの発達段階に応じた読書習慣をつくっていくことが大切かなと思っております。そこで読書指導との関連について、国語の各社の特徴があれば教えていただきたいと思っております。お願いします。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 読書指導との関連については、3社とも各学年で年間2回から3回の読書単元を設け、読書に親しむ習慣と態度を育むように工夫されています。特徴的なものとしては、光村図書出版はデジタルコンテンツの中に作家・筆者へのインタビューの動画が用意されています。

【教育長】 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。よろしゅうございませうか。それでは、国語の質疑を終わりたいと思っております。

続きまして、書写についてでございますが、いかがでしょうか。渡辺委員。

【渡辺委員】 われわれ教育委員で学校訪問に伺った際に、姿勢が悪かったり、鉛筆の持ち方がきちんとできていなかったりという、そういった児童が見受けられたところなんですけども、姿勢や用具の持ち方の指導は、文字を正しく整えて書くためにとっても重要なことだと思っております。この点について、各社、特徴などがあれば教えていただければなというふうに思っております。以上です。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 姿勢や用具の持ち方・使い方につきましては、各社とも多くの紙面を割いて扱っています。各社の特徴を申し上げますと、東京書籍では、第1学年及び第2学年において、書写体操と併せて書きやすい鉛筆の持ち方についても巻頭に大きく掲載しております。教育出版では、正しい姿勢や鉛筆の持ち方の合言葉を第1学年から第4学年まで繰り返し扱い、第5学年以降は合言葉を想起させる扱いをしております。正しい姿勢や鉛筆の持ち方を合言葉ということで行っています。光村図書出版では、各学年の巻頭に正しい姿勢と筆記具の持ち方を確認するページや、書くための体をつくる書写体操や、授業やタブレット等を使った後に行う整理体操を動画視聴できるようになっております。

【教育長】 他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、書写について終わりたいと思います。

次に、社会科でございますけれども、御質問等ございますでしょうか。野口委員。

【野口委員】 社会科の学習において児童が自ら調べる活動はとても大事だと考えています。社会科見学等で本物を見る、実物を見る機会というのはベストですけれども、なかなかそういう機会も限られているため、デジタルコンテンツ等が効果的に活用できれば、子どもたちの学ぶ活動をより充実させることができるというふうに考えています。この点について各社の特徴があれば教えてください。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 東京書籍では二次元コードが紙面の右下に統一されており、どのようなデジタルコンテンツにアクセスできるか、一目で分かるようになっております。教育出版では二次元コード内のマークによってデジタルコンテンツの種類を判別できるようになっており、児童自らが活用の用途に応じて見分けやすくなっております。日本文教出版では、掲載している資料や活動の例示の近くに多くの二次元コードが配置され、児童が自らの課題に応じて動画や解説資料にアクセスできるようになっております。

【教育長】 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。宇田委員。

【宇田委員】 社会科っていうのは、ややもすると、どうしても教師のほうで教え込んだりとか、それから暗記したりだとか、そういう形の授業になっていくんですが、やっぱりこれからは子どもたちが自分で問題解決的な学習を進める必要があると思うんです。問題解決的な学習のためには、やっぱり子どもが見通しと振り返りを持つ。そのためには、きちんと学習計画を立てていく。福生の子どもたちも学習計画を立てていくということは、とても——この教科だけではなくて——非常に重要だと思うんですけども。そういった例えば学習計画の立て方について、委員さんの中で議論するだとか、何か話題になったとか、そんなことがもしあったら教えていただきたいんですけど。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 学習計画については、学習計画を立てさせる場面の指導に課題を感じていることが委員の中でも話題に上がっていました。委員の意見では、3社の中では教育出版が学習計画の立て方について紙面の多くを割き、内容も充実していた、とのことでした。例えば学習計画の例示だけでなく、学習計画を立てる時に参考となる具体的な思考方法として、疑問や予想から学習計画を立てるまでの経過が掲載されていることが、委員からは意

見として出ておりました。

【教育長】 他にいかがでしょうか。渡辺委員。

【渡辺委員】 3社で2分冊と合冊になっているもの、大きく分けてあったと思います。調査委員会等でそういったこと話題に上がったことがあれば教えていただければなというふうに思いますが。よろしくをお願いします。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 調査委員会では2分冊というのは重くないことが利点として挙がっておりました。一方で、社会科は学習した内容の振り返りが重要であることから、既習事項との関連を確認する上では合冊となっているほうが良い、という意見が出ておりました。

【教育長】 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、社会科の質疑を終わりたいと思います。

次に、地図についてはいかがでしょうか。御質問等ございますでしょうか。渡辺委員。

【渡辺委員】 地図帳は第3学年から第6学年まで各学年で使用されるものなのですが、特に第3学年の使い始めにおいて地図帳の仕組み等を理解できるようにすることがとても大切だと考えます。第3学年から使用に対応した各社の特徴を教えてくださいな、というふうに思っています。また、4年間使用するとすると、それに耐えられる丈夫な製本がされているのはどの教科書なのか教えてくださいなというふうに思います。以上です。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 第3学年からの使用に対応した各社の特徴ですけれども、東京書籍では、地図帳の導入に地図学習のページを8ページ設け、キャラクターがガイドして地図の仕組みや意味を解説しています。帝国書院では、地図帳の導入に地図の約束や地図帳の使い方を14ページにわたって段階的に扱っています。

製本の仕様につきましては、両社とも糸かがりの方法で製本されており、4年間の使用に耐える丈夫な作りとなっています。加えて、帝国書院は表紙に耐性の強い用紙を使用し、さらに表面の摩擦や汚れを防ぐためのポリプロピレンシートを貼っているのが特徴として挙げられます。

【教育長】 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。新藤委員。

【新藤委員】 先ほど野口委員も触れられておりましたけども、社会科というのは、さまざま

な資料で調査活動を通して情報を集めて、そして調べ、まとめていくという技能を身につけるということが、かなり重要なポイントになるというふうに思っております。その際、先ほどのデジタルコンテンツと同様に、この地図帳の活用っていうのがやっぱりその要になっていくんじゃないかというふうに考えておりますので、2社を比べて掲載されている地図の総数と、それから資料の特徴があれば、それぞれに教えていただければと思います。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 東京都教育委員会の調査研究資料によりますと、掲載されている地図の総数は、東京書籍が109点、帝国書院が142点です。目的別資料図については、東京書籍は人口、交通、貿易に関するものが多く、帝国書院は国土利用、自然、環境、防災、日本の歴史に関連するものが多く掲載されています。統計資料等については、東京書籍は写真資料が多く、帝国書院は表、グラフ、分布図が多く掲載されております。

【教育長】 ありがとうございます。他に、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、地図のほうは終わりたいと思います。

次に、算数について御質問がある委員の先生いらしたら、お願いします。加藤委員。

【加藤委員】 御説明の中で基礎・基本の定着に関する説明が多くあったのではないかと思います。福生の子どもたちにとって基礎学力の定着が課題であると常々思っているんです。そこで教科書で取り扱われている練習問題や発展教材の数、それからデジタルコンテンツの取り扱い方とか、各社の傾向を教えてくださいたいと思います。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 東京都教育委員会の調査研究資料によりますと、練習問題の量は学校図書、大日本図書が多く、日本文教出版、教育出版が少なくなっています。発展教材は教育出版、日本文教出版が多く、東京書籍、大日本図書が少なくなっています。デジタルコンテンツにつきましては、基本的な解き方等の説明動画が各社とも充実しております。基礎・基本の定着に向けて工夫もされております。練習問題のデジタルコンテンツについては、東京書籍と大日本図書は、章末の練習問題において答えを入力すると正誤判定に加えて解説が出るようになっております。

【教育長】 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。渡辺委員。

【渡辺委員】 算数では授業での指導内容がなかなか子どもの実生活に結び付かないというようなことを聞くことがあるんですけども、算数を学ぶ意義を実感するために、実生活と関連した問題の量や、あるいは取り上げ方について、何か特徴があれば教えていただければなという

ふうに思うんですが。よろしくをお願いします。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 東京都教育委員会の調査研究資料によりますと、最も多く扱っているのは啓林館で、大日本図書、日本文教出版が続きます。

また、東京書籍では算数の有用さを感じられるようにするための「私と算数」、大日本図書では算数と実社会で生かされることを知る「ふくろう先生のなるほど教室」、啓林館では学びを実生活に生かす「学びを生かそう」、日文では学習内容を実生活と結び付ける「使ってみよう」、学校図書では学習内容を生活で生かす「算数を使って」、教育出版では算数を使って日常の問題を解決する「学んだことを使おう」など、各社、学びと実生活を関連付けるページが設定されております。以上です。

【教育長】 ありがとうございます。算数、他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。では次に、理科についてはいかがでしょうか。新藤委員。

【新藤委員】 理科というものを考えてみると、まず子どもたちが問いを見いだして、予想や仮説を立てて観察や実験を行います。そして結果を整理して、それをもとに結論に導いていく。この過程を繰り返していくことで、子どもたちが自分自身で問題解決に向かっていく力、こんなものが身についていく教科だというふうに考えているところですけども。そういったことで考えると、基本となります、この教科の過程の流れですね。それについて工夫をしている教科書があれば教えていただければということです。お願いいたします。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 まずは、各社ともその重要性を鑑み、問題解決の手順を明確に示している構成となっております。その中でも東京書籍では、問題解決の過程ごとにデジタルコンテンツが用意されており、活動しやすくなるよう工夫されています。また、一段組で学習の流れがステップごとにはっきり区切られています。教育出版では、問題解決の過程で特にその学年で重視したい力が明確に示されています。

【教育長】 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。渡辺委員。

【渡辺委員】 私も新藤委員同様、理科は実験や観察が非常に重要であると捉えています。そこで各教科書の取り扱いの量についての差があるか、ちょっと教えていただければなというふうに思います。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 理科の学習において実験や観察は非常に重要な位置付けとなっています。そのため、実験や観察を取り上げている箇所には差があるものの、どの教科書においても写真を大きく提示したり、手順を見やすく配列したり、工夫が見られます。

なお、東京都教育委員会が作成した調査研究資料によりますと、実験や観察を多く取り上げているのは信州教育出版社です。次に多いのは学校図書となっております。

【教育長】 ありがとうございます。理科については他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

次に、生活についてお願いします。生活いかがでしょうか。野口委員。

【野口委員】 福生市では今、幼保小連携の推進に力を入れていますけれども、就学前教育から小学校教育への接続に関してスタートカリキュラムの掲載が充実している教科書があるかどうかをお伺いしたいのと、あともう一つは、中学年以降、理科・社会の接続について工夫されている教科書があれば、併せて教えていただきたいと思います。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 7社とも上巻冒頭の単元においてスタートカリキュラムを扱っております。その中でも東京書籍、教育出版、光村図書出版、啓林館の4社は、幼児期までに育てほしい姿が具体的に示されており、それを生かして学習している児童の姿の写真やイラストによってスタートカリキュラムで行われる活動を提示しています。中学年以降の接続についても7社とも構成上取り入れています。その中で教育出版は、発展的な学習内容の記述として理科や社会へのつながりを示すコラムが掲載されていることが、他社には見られない特徴です。以上です。

【教育長】 よろしいですか。他はいかがでしょう。加藤委員。

【加藤委員】 生活科の学習では、子どもたちが具体的な活動や体験を通して、気付きの質っていうんですか、を高めていくことが大切なんじゃないかなと思っています。そこで、自分自身の成長に関する気付きの具体的な例示が充実している教科書っていうのはありますか。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 東京都教育委員会の調査研究資料によりますと、自分自身の成長に関する気付きの例示を最も多く掲載していたのは、啓林館の64カ所です。次いで教育出版の41カ所となっております。

【教育長】 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。よろしゅうございませうか。次に、音楽についていかがでしょうか。御質問のある委員いらっしゃいましたら、お願いします。加藤委員。

【加藤委員】 教科書や音楽の選定協議会の報告書ですか、共通事項っていう言葉があったんですけども、どのようなことなのか、もうちょっと具体的に教えていただけますでしょうか。それと、その共通事項に関わる各社の特徴っていうのも教えてください。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 共通事項は、表現及び鑑賞の全ての活動において共通に指導する内容のことです。例えば音楽を形づくっている要素として音色やリズム、速度、旋律、強弱や調などが示されてございます。各社の特徴ですけれども、例えば音楽を形づくっている要素の示し方として、教育出版は「音楽のもと」として見開きごとに示しています。教育芸術社では各ページの端に示し、振り返りのページというのを設けて、当該学年で学習した要素を一覧できるようにしております。

なお、東京都教育委員会の調査研究資料によりますと、各社とも同程度の共通事項が示されています。領域別に見ますと、表現の領域では教育出版のほうが多く、鑑賞の領域では教育芸術社のほうが多く示されてございます。

【教育長】 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。宇田委員。

【宇田委員】 つい最近ですけど、ある保険会社が教員にアンケートを取ってて、どんな行事が好きですかというのがあって、上位を占めたのが、やっぱり卒業式とか、それから体育大会だったかな。卒業式とかそういう儀式っていう時には式歌も歌ったり、それからいろいろな思い出の曲もあったり、そして大切なのは国歌だと思うんです。学習指導要領も国歌についてあるんですけども、この2社で国歌の取り扱いについて特徴があったか、それとも同じだったのかっていうのがあれば教えていただきたいんですけど。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 各社とも国歌については、各学年の発達の段階に応じて、全学年で楽譜、歌詞、解説、写真による掲載がされています。教育出版では、全学年において自国や他国の国歌が演奏される場面をスポーツ大会の写真などで掲載し、国歌の担う国際的な役割にも触れられています。教育芸術社では、全学年共通として、すぐに開くことができる最終ページに配置されています。また、高学年においては、国際理解教育の視点から自国のみでなく他国の国歌を尊重する態度を養えるように、国歌を歌ったり聞いたりする時の一般的なマ

ナーについても触れられています。

【教育長】 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。よろしいですか。
それでは、図画工作について御質問ある先生いらっしゃいますか。野口委員。

【野口委員】 図工の教科書、たくさんの写真が掲載されているんですけども、調査委員会において、例えばこれらの写真の中身とか、あるいはその効果について、どんな意見あるいは分析があったのか、もし出ているようでしたら教えてください。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 教科書によって製作過程や表現方法が分かる写真が多いことが話題に上がりました。児童の作品の写真に説明がついていると、作品をつくるに当たりイメージを持ちやすいということも話題になっておりました。

【教育長】 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。渡辺委員。

【渡辺委員】 工作の授業をする時、例えばラジオペンチとかトンカチなど道具を使うわけですが、けがをしないこと、あるいはさせないことがとても大切で、その意味から安全指導はとても重要なことと考えています。おのおのの教科書にはどのような工夫がなされているのか教えていただければなというふうに思います。以上です。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 開隆堂出版では、安全に活動するに当たって注意すべきことを、囲みで強調して示しています。日本文教出版では、道具の安全な使い方を記載するとともに、やってはいけないことをバツ印を付けて分かりやすく示しております。

【教育長】 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。よろしゅうございませうか。
では次に、家庭についてはいかがでしょうか。野口委員。

【野口委員】 家庭科は非常に実習の多い教科であるわけですが、子どもたちが実際に実習を有意義に進めていくために、それぞれの教科書がどんな工夫をされているか、もしありましたら教えていただきたいです。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 東京都教育委員会が作成した調査研究資料によりますと、

調理、製作などの実習や観察に関する項目は、東京書籍が 24、開隆堂出版が 32 カ所掲載されています。どちらも見開きで作業の手順が示されています。東京書籍は、巻末の「いつも確かめよう」で基礎的・基本的な技能について写真で説明しています。手や包丁、針など、ほぼ実寸大の写真を扱うことで、実習がイメージしやすい構成となっています。開隆堂出版は、巻末の「実習に役立つワンポイント」に、食材の切り方や大きさの目安となる資料に、物の大きさを確認できるスケールが示されています。裏表紙にもスケールがあり、切る際に大きさをイメージしやすい工夫がされています。

【教育長】 ありがとうございます。他いかがでしょうか。加藤委員。

【加藤委員】 家庭科っていうのは普段の生活と密接に関わっている教科かなって思っています。実際の生活との関わりを教科書ではどのように扱っているか、教えていただきたいと思っています。お願いします。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 どちらの教科書も単元の最後に具体的な場面を通して学びを生活に生かす方法を考えることができます。安全や自然災害、持続可能な社会の実現などの諸課題についても、ほぼ同程度扱っています。東京書籍には巻頭に「成長の記録」があります。学習の振り返り、そして次にチャレンジしたいことを記入することで、2 学年を通したポートフォリオをつくることのできる工夫がしてあります。

【教育長】 よろしいですか。ありがとうございました。他いかがでしょうか。よろしゅうございましょうか。

では続きまして、保健についていかがでしょうか。宇田委員。

【宇田委員】 すみません。保健って 6 社もあるんですね。結構たくさん。ただ、各社見ると、とても資料が豊富で読みやすいし、児童の興味を引くような教科書が多いと思うんです。ただ、保健って時間数がそんなに多くないですね。ですから子どもたちがノートをつくるって結構大変だと思うし、じゃあノートつくらないならば、先生がワークシートを作るのかと。先生もまた忙しいというところで。

そうすると、ちょっと教科書を見た中で、やはり書き込めるようなスペースだとか、そういうような工夫があった教科書もあるんですけど、委員会のほうでもって書く活動に工夫を凝らしているのがどう見えたのか、その辺についてまとめられていたら教えていただきたいんですけど。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 まずは各社とも比較的新しいデータやグラフ、写真が適切に配置されており、データ等を根拠に健康や安全について理解できるように配慮されています。書く活動については、どの教科書会社においてもポイントを絞って書き込むことができるようになっています。その中でも東京書籍と Gakken は、書き込める箇所やスペースの広さなどの工夫がうかがえます。

【教育長】 宇田委員。

【宇田委員】 随分前は教科書に書き込むって、あまりいいことじゃないっていうイメージが先生たちも子どもたちもあったんですけど、最近はどうですか。イメージだけでも。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 端的に振り返りながら既習事項を振り返っていかうとすると、そういった書き込みを活用していくっていうのは——保健などはそんなに多い時間ではありませんので——かなり有効である、分かりやすいというふうに考えております。

【宇田委員】 ありがとうございます。

【教育長】 かなり書くということについて行われているという感じですか。

【教科用図書選定協議会委員長】 はい。

【教育長】 分かりました。教科書に直接書くということですね。

【教科用図書選定協議会委員長】 はい。

【教育長】 ありがとうございます。他いかがでしょうか。新藤委員。

【新藤委員】 先日、新聞で、厚生労働省がコロナ禍以降、子どもたちの自殺が顕著に増えているという公表がありました。本当にどうしようもない痛ましい思いと、それと同時に、子どもたちの心の健康の保持・増進、あるいは悩みや不安に対応していくということは、教育の本当に喫緊の課題だというふうに強く思うんです。その点から各社はこのことをどんなふうに扱っているのか。また特徴があるということであれば、ぜひ知りたいと思いますので、よろしくをお願いします。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 東京都教育委員会が作成した調査研究資料によりますと、心の健康について扱っているページ数というのが最も多いのは、文教社と Gakken です。不安や悩みの対処については Gakken が最も多く扱っています。特に大日本図書と Gakken では、思春期に起こり得るさまざまな悩みについて具体的に触れていまして、自分自身を見つめたり、他の人との違いに目を向けたりできるように配慮がされております。以上です。

【教育長】 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。ありがとうございます。
それでは次に、英語についてはいかがでしょうか。新藤委員。

【新藤委員】 英語っていうのは、福生市の外国の方々が多く居住しているという特徴とか、あるいは今日的課題を背景として福生市の教育委員会も特に力を入れて、ここ数年展開をしてきたところだというふうに考えております。その中で、子どもたちにとっても、このことはきっと大きな一つの強みになっていくだろうという大きな期待も持っているところなんです。そういうことに鑑みますと、やっぱり広く、どの子も英語が楽しみだと。学ぶの楽しいなっていうのは、広がったり、上へ子どもたちが伸びていく時に大きな条件になるのかな、というふうにも考えていたところですが。ぜひ、子どもたちが学びやすい工夫をしている、そんな点について調査委員会の先生方でどんな議論とかやりとりがあったのか、その辺りのところを教えてくださいなればと。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 調査委員会の中では、やはり福生の子どもたちが英語を楽しく学ぶためには、シンプルな紙面で単元構成がされていて、学習の流れが分かりやすいものが児童に合っているのではないかという話がありました。

また、自らが立てた目標に向かって見通しを持ちながら学ぶことができる、こんなこともできると良い、ということが話題として上がっておりました。

【教育長】 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。宇田委員。

【宇田委員】 今、新藤委員からありましたように、福生はとても英語教育に力を入れていて、それから G T E C を受けて、昨年、福生市の平均スコア、全国平均を上回ったってとても素晴らしいことがあったんですけど、やはり話すことっていうのは課題があるというふうな分析があったと聞きました。本当にホットなところで、全国学力学習状況調査があって、やはり話すことに課題があると。ただ、東京都の都立高校の入試でも、やっぱりスピーキングを入れているという形で、スピーキング・話すことっていうのはとてもこれから重視されているわけなんですけど。その辺で、各社、取り上げ方どうなんでしょうか。非常に重要視していると思うんですけど、何か特徴があったらお願いします。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 特徴というところなんですけれども、例えば東京書籍ではコミュニケーションを楽しむために、各パートで学習してきた表現を確認した後、それらをもとに会話を膨らませるような活動を設けております。三省堂は、推論する力を養って確かなコミュニケーション力を育成するために、分からない語句や表現があっても、分かる語句などをヒントに聞き続ける活動というものがあります。教育出版では、関わり合いを大切に、伝え合い、認め合う力を育成するために、ペアやグループで取り組む活動を多く設けている、そんな特徴がございました。

【教育長】 いいですか。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。続きまして、道徳についていかがでしょうか。加藤委員。

【加藤委員】 道徳の教科書には、いろいろなお話が掲載されています。お恥ずかしながら、この年になっても小学校の時の道徳でやった物語をおぼろげながらまだ記憶に残っているという状況です。子どもたちには、できるだけ感動的な心を打つようなお話に触れてもらいたいなと思っております。教科書を見ますと、内容項目として、感動、畏敬の念とありましたが、この内容を中心とした教材を多く扱っている教科書はどれになるでしょうか。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 全ての教科書において、感動、畏敬の念を取り扱った教材がございますけれども、東京都教育委員会が作成した調査研究資料によりますと、感動、畏敬の念に関する話について扱っている数が最も多かったのは、東京書籍の9点でした。また、次が光文書院の8点となっております。以上です。

【教育長】 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。野口委員。

【野口委員】 福生の子どもたち、i p a dを自宅でも使えるという環境にあるわけなんですけれども、そういう環境であるからこそ、情報モラルとかリテラシーについて学ぶ必要があると考えています。道徳の教科書においてSNSとかインターネットといったことについてどのように扱われているか教えてください。

【教育長】 高瀬委員長。

【教科用図書選定協議会委員長】 どの教科書でも情報モラルに関する内容として教材が掲載されておりますが、東京書籍、光村図書出版、光文書院では、複数学年で漫画形式の教材を取り入れており、児童に興味・関心を持たせる工夫をしていました。また Gakken では、実際の

SNSの画面を掲載し、子どもたちが関心を持って取り組むことができるようになっておりました。

【教育長】 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。よろしゅうございましょうか。他にございませんでしょうか。それでは、道徳の質疑を終わります。

全体を通じて高瀬委員長に質問がある委員の方、いらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。なければ、以上で全ての質疑を終わります。高瀬校長先生、ありがとうございます。

暫時休憩いたします。

【教育長】 休憩前に引き続き、会議を始めます。それでは、ただ今から採択に向けた協議を行ってまいります。初めに、種目ごとに御意見をいただき、採択する発行者を決めていきます。議論が終わった後、最後に教育総務課長から協議の結果に即して種目ごとに採択する発行者名を読み上げていただき、議案第 34 号として採択をお諮りすることといたしたいと存じますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし。」の声あり)

【教育長】 ありがとうございます。では御異議ありませんので、そのように進めさせていただきます。

それでは、国語について御意見、お願いしたいと思います。いかがでしょうか。宇田委員。

【宇田委員】 先ほど質問した時に述べさせていただいたんですけども、言語活動が重視されている、国語科がその要になるってことです。ですから、やっぱり国語の教科書にはいい作品がたくさん載っているべきだと思います。先ほどの調査結果ですと、やはり東京書籍、それから光村図書出版がっていうのがありましたので、この2つがふさわしいのかなと思います。また、光村図書出版を見ると、作者のインタビュー動画なんかデジタルコンテンツなんかに出て、そういうのってやっぱり小学生の子どもたちの興味・関心を引くんじゃないかなと、そんな気がしています。

【教育長】 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。新藤委員。

【新藤委員】 すみません。宇田委員の発言に重なるところもあると思うんですが、昨年度の福生市の学力学習状況調査の結果がまとめられまして、その報告では、グループの話し合いや教え合いというのを授業で充実させていくことが学力向上につながるんだという分析結果を報告いただきました。このことからすると、光村図書出版は、話すこと、聞くことに関する言語活動がともかく多く設定されているということで、福生市の児童の実態を踏まえた指導が充実しやすいというふうに考えますので、光村図書出版を私は推薦したいというふうに考えています。

【教育長】 分かりました。ありがとうございます。他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。今、2社挙がっていましたが、総合的にいうと光村図書出版というお声がありました。いかがでしょうか、皆さん。光村図書出版採択ということでよろしいでしょうか。

(「異議なし。」の声あり)

【教育長】 では、国語については光村図書出版を採択するという方向でいきたいと思います。続きまして、書写について御意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。渡辺委員。

【渡辺委員】 先ほど質問させていただきまして、文字を正しく書くには、正しい姿勢や筆記用具の持ち方を丁寧に指導することが大切だというふうに考えています。光村図書出版社は、第1学年の書写スタートブックと、第3学年の毛筆スタートブックの内容が分かりやすく感じたところでありました。また各学年の巻頭に、姿勢と筆記用具の持ち方を確認する場面が設けられています。これによって定着が図られるものと考えています。面白いところで書写体操がありましたね。あと整理体操、動画になっていて。そんな取り組みも良い活動であると思いましたので、光村図書出版が良いのではないかな、というふうに考えたところでございます。以上です。

【教育長】 ありがとうございます。他いかがでしょうか。加藤委員。

【加藤委員】 私は書写の場合、国語の教科書とのつながりを考えて、光村図書出版がふさわしいのではないかと思います。

光村図書出版では、国語の教科書と連動できる教材が各学年に設定されていまして、国語と一体的に扱うことで学習活動に必然性が生まれて、子どもたちが主体的な学びができるのではないかなと、そういうふうに工夫されているのではないかと感じました。

【教育長】 ありがとうございます。他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、書写については光村図書出版を採択することで、よろしゅうございましょうか。

(「異議なし。」の声あり)

【教育長】 では、書写については光村図書出版といたします。

次に、社会科、社会について御意見をお願いいたします。宇田委員。

【宇田委員】 先ほど学習の見通しについて質問させていただいたんですけども、やはり主体的で、対話的で、深い学び。この深い学びってというのは、やっぱり課題解決の学習につながるものだと思います。その時には、やはり学習計画を立てることが重要で、それを先ほど質問しましたら、委員長の方からは、教育出版が非常に紙面を多く割いている。こうやって

紙面を多く割いているのが、子どもたち、学習計画をどうやって立てていったらいいのかとか、いろんな考え方どうやってまとめていってそれを表現していいのか非常に分かりやすくなると思っていますので、そういった意味で私は教育出版が福生の子どもたちの学習計画を立てる意味で非常に役に立つのではないかなという気がするんです。

【教育長】 ありがとうございます。私も同感な気持ちをしております。
他いかがでしょうか。渡辺委員。

【渡辺委員】 どの教科書も1単位時間が見開きで構成されていまして、学習内容を捉えやすいというふうに思ったところでした。その中でも東京書籍と教育出版は、すっきりしていて分かりやすい紙面構成だと感じたところでした。また、先ほど質問させていただきましても、委員長からの発言があったように、合冊であることは複数単元の学習内容の関連が分かりやすく、既習内容を振り返りながら指導するということができる良さを感じたところでした。あと、見やすさでは東京書籍、そして合冊であることも考えると教育出版も良いのではないかなというふうに思ったところです。以上です。

【教育長】 ありがとうございます。他いかがでしょうか。野口委員。

【野口委員】 掲載されている資料が充実している教科書が良いなど、もちろん思うんですけども、教育出版は全体を見渡せる歴史年表があって、これは非常に見やすいかと思いました。先ほどから話出ておりますけれども、合冊であることの強みでもあると思いますし、行ったり来たり子どもたちがしながら学べるというメリット、合冊にはあると私も感じています。また、教育出版の白黒の写真はAIを使ってカラーで見せるという、ちょっと面白い取り組みをされていて、より子どもたちにとって分かりやすいかと感じました。あとは、学びの手引きとか、やってみようといったコーナーの工夫ですとか、デジタルコンテンツも充実しております、こういったことから総合的に見て、教育出版のほうを推薦したいと思います。以上です。

【教育長】 ありがとうございます。他いかがでしょうか。

今、御意見、複数社出ましたけれども、総合して見ますと教育出版社を採択という形でよろしゅうございませうか。では、社会については教育出版を採択ということでお願いいたします。

次に、地図について御意見、お願いいたします。新藤委員。

【新藤委員】 子どもたちが社会科の中で地図を活用するについては、その中に地図の数も当然ですが、非常に多様な地図が用意されているのかということが大きな重要なポイントになるのかなというふうに考えています。そういう視点から見ると、帝国書院は広く見渡す俯瞰（ふかん）する地図があったり、あるいは逆に非常に細かく詳しく一つの限定されたものを見つめていくというような地図があって、子どもたちの発達段階だったり、あるいは使用目的に応じ

て子どもたちが使い分けていくことができるというような工夫が感じられました。

そんな点からは私は帝国書院を推したいなというふうに思っております。

【教育長】 ありがとうございます。帝国書院ということですけど、他にいかがでしょうか。渡辺委員。

【渡辺委員】 私も帝国書院を推薦したいと思っています。地図指導においては、初めに地図の約束や地図帳の使い方を丁寧に指導することが大切だと考えているんです。帝国書院は第3学年の地図資料に多くのページを割いて丁寧に扱っているため、入門期の地図の指導が充実するのではないかなというふうに考えました。また、地図マスターへの道がありますよね。あれは楽しみながら資料活用能力を高めていけるように工夫されていることも、推薦する理由であります。以上でございます。

【教育長】 ありがとうございます。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。帝国書院ということで挙がっております。地図については帝国書院ということでよろしいでしょうか。では、地図については帝国書院といたします。

次に、算数について御意見をお願いいたします。新藤委員。

【新藤委員】 これまでも出てまいりましたけども、福生の子どもたちには基礎・基本の定着に課題があると、そういう実情を抱えております。その実情からすると、巻末に練習問題の答えを用意して、子どもたちが自分で正解・不正解を確認しやすいようにしているといった点であったり、あるいは解説の提示が丁寧にあったりというようなことで、1人でも学習が進めていける、そんな工夫が大事なかなというふうに思っておりますが。そんな観点からすると東京書籍、あるいは大日本図書もいいですかね。どちらかがいいのかなというふうに考えます。

【教育長】 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。加藤委員。

【加藤委員】 私は基本的には算数は一定数の練習問題をこなすことも必要だと考えているんです。子どもたちの中には、教科書を開いた時に紙面に練習問題が多く掲載されているだけで、「えー」っていう感じで負担に感じてしまう子どもいるっていうのは、それも感じています。前者の教科書を開いてみると、東京書籍が一番シンプルで見やすいのではないかなというふうな印象を持ちました。私は東京書籍が福生の子どもたちにとっていいのではないかと思いましたが、けれども、いかがでしょうか。

【教育長】 いかがでしょうか。今、東京書籍、そして大日本と出ておりますが、他に御意見どうでしょうか。総合的に考えて、それでは東京書籍を採択する方向でよろしいでしょうか。ありがとうございます。では、算数については東京書籍といたします。

続きまして、理科について御意見を申し上げます。野口委員。

【野口委員】 理科において実験が非常に大切であるということは、私がわざわざ言うほどでもないんですけども、いろんな都合、授業を欠席してしまって実験ができなかったり、あるいは復習で何度も見たいというようなことがあった時に、デジタルコンテンツでそういったところを補えるということは、とても大事かなと考えています。その点から、コンテンツが充実している大日本あるいは東京書籍が良いと感じました。以上です。

【教育長】 ありがとうございます。大日本と東京書籍の名前が挙がりました。いかがでしょうか。新藤委員。

【新藤委員】 私は東京書籍を推薦したいというふうに考えています。ダイナミックな写真と、それから最小限の言葉でシンプルに紙面が構成されている。それがとても見やすく、逆に子どもたちが想像力を働かせる余地があるのかなというふうにも思いました。

また、例えば青梅市を流れる多摩川、あるいは河原の写真が掲載されたりして、子どもたちに身近なものが取り上げられているという点からも親しみやすくなるかなというふうに考えました。福生の子どもたちの実力から考えると、学ぶに当たって見やすい教科書、あるいは分かりやすい、親しみやすいということも重要なポイントになるだろうというふうに思いますので、この点から東京書籍を推したいというふうに考えます。

【教育長】 ありがとうございます。他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、お話を総合しますと、親しみやすさ、身近さということもあり、東京書籍を理科では採択することよろしいでしょうか。では、理科は東京書籍といたします。

次に、生活について御意見をお願いいたします。加藤委員。

【加藤委員】 生活については、どの教科書も気付きの質を高めるための工夫がされているのではないかと感じました。教育出版はキャラクターが子どもたちの気付きを促していて、気付きの質を高めるように工夫しているように感じました。他にも、単元の中で最も育てたい資質・能力っていうんですか、を分かりやすく示したサイコロとかの多くの仕掛けが用意されていて、子どもたちが楽しみながら学べて、着実に資質・能力が育まれる教科書なんではないかなというふうに感じました。そこで私は教育出版を推薦したいと思います。

【教育長】 ありがとうございます。他いかがでしょうか。宇田委員。

【宇田委員】 今、加藤委員おっしゃったように、教育出版ってキャラクターでもって気付きっていうか、興味・関心なんですけど。もう一社、東京書籍も、いい写真で、非常に質の高い写真が載っていると思ってます。

私、自分の子どもが2年生だったかな、生活科で秋を見つけようっていう単元があって、実際歩いている時に、「え、こんなにあるんだ」って、なかなか気付いてなかった。

福生でも、やっぱり自然が多いですね。自然が多い中で子どもたちに気付かせるっていうのは、歩きながらもそうなんですけど、まず教科書でいろんなたくさんの写真があって、それを使うっていうのは一つの手かなと思うんです。ですから、教育出版もいいんですけど、東京書籍も、両方どちらかが。すみません、どっちつかずなんですけど、両方ともいい、質が高いな、という気がしています。

【教育長】 ありがとうございます。東京書籍、教育出版と出ましたけども、他いかがでしょうか。野口委員。

【野口委員】 先ほども申し上げましたけど、福生市では、幼保小の連携、非常に力を入れておられて、スタートカリキュラムという重要性も認識しているところです。教育出版においては、幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿というのがイラストで表現されていて、またそれを生かして学習している姿というのも写真が載っておりました。幼児期の学びと小学校の学びのつながりがイメージしやすいと感じました。以上の点から、私としては教育出版のほうを推薦したいと思います。以上です。

【教育長】 ありがとうございます。幼保小の連携の研究というのは、今年もこれからも私ももしっかりやっていきたいと思ってますので、私も同じような意見を持ちました。

いかがでしょうか、他に。よろしいですか。そしたら、今2社出てますけれども、総合的に考えて教育出版ということでよろしいでしょうか。では、生活については教育出版社としたいと思いますが、よろしゅうございましょうか。

では次に、音楽についてでございますが、御意見ございましょうか。加藤委員。

【加藤委員】 教育芸術社の教科書では、題材や学習の目標によって、何を目標にどのように学んでいくかっていうのが一目で分かるようになっているのではないかと感じました。そこで巻頭の学習マップもすっきりとしていて見やすくまとめられていて、見通しを持って学習に取り組みやすい紙面構成だと感じました。

そこで私は教育芸術社を推薦させていただきたいと思います。

【教育長】 教育芸術社ということで。他いかがでしょうか。宇田委員。

【宇田委員】 私も教育芸術社がいいんじゃないかなと思います。先ほど質問した時の答えの中で、例えば国歌の扱いが各学年、後ろに統一されて非常に分かりやすい。それからお互いの国の国歌を大切にすって、そういうようなマナーなんかもある。これはとても大切なことで、せっかく東京オリンピック・パラリンピックがあって、いろんな国が大切だって、国家それから人も大切。そういったところのレガシーも残していくべきで、そういったような扱いがされていけば、一つ東京オリンピックで培ったレガシーにもなっていくんじゃないかと。その意味で教育芸術社がいいんじゃないかなと思います。

【教育長】 ありがとうございます。いかがでしょうか、皆さん。よろしいですか。では、音楽については教育芸術社という形で、よろしいでございましょうか。では、音楽については教育芸術社といたします。

次に、図画工作について御意見を頂戴したいと思います。いかがでしょうか。野口委員。

【野口委員】 隆堂出版がいいかなと思っておりますが、掲載されている作品写真、そこに制作者が工夫したことや考えたことが書いてあって、こういうのは児童にとっての創作のヒントになるのではないかと感じました。また、全体的に掲載されている写真の数がうまく整理されており、子どもたちにとって見やすいと感じました。以上です。

【教育長】 ありがとうございます。他いかがでしょう。渡辺委員。

【渡辺委員】 先ほど質問させていただきましたが、私は仕事柄、やはり安全面について一番気になるので注意して見ておりましたが、どちらも巻末に用具の使い方が書いてあって、安全面に配慮する記述がありました。双方大きな違いはないように思いますが、開隆堂では釘の抜き方とか、金づちを使う方法や、あるいは紙やすりの目の種類が写真で示してあったりしまして非常に見やすいなと思いました。また、教科書を開いた時に学習の目標が非常に分かりやすく示されていたので、私も開隆堂出版がいいなというふうに考えます。以上です。

【教育長】 ありがとうございます。開隆堂でよろしいですか。それでは、図画工作については開隆堂出版を採択することをお願いしたいと思います。

続きまして、家庭についてですが、いかがでしょうか。加藤委員。

【加藤委員】 家庭科ですが、東京書籍にあるポートフォリオっていうので、その時に子どもたちが次のチャレンジっていうことを蓄積していくことができるようになっていっているなというふうに感じました。子どもたちはその時に感じた、主体的に日々の生活に生かそうとする態度を常に蓄積していくことになって、学習、学んだことを日々の生活に生かそうとする姿勢が身につくのではないかなというふうに考えました。そこで東京書籍を推薦したいと思います。

【教育長】 ありがとうございます。他いかがでしょうか。渡辺委員。

【渡辺委員】 私も東京書籍を推薦したいなというふうに思います。先ほど図工と同様、実習が苦手な子の手助けになる資料が多いほうがいいと思っていまして、当初、東京書籍は巻末の写真が大きくて非常に見やすく、実際の作業がしやすくなるのではないかなと、そんなふうに感じたところであります。以上です。

【教育長】 ありがとうございます。よろしいですか。それでは、家庭について東京書籍としたいと思います。

次に、保健について御意見をお願いいたします。宇田委員。

【宇田委員】 さっき申し上げたんですけど、やはり保健は時数が少ない。だからノートをつくるっていうの、書き込みができるのがいいんではないかと思ってます。それで見ると、Gakken と東京書籍が1単位時間数が4ページ割いてますので、他社と比べてやっぱり余裕がある。そういうところだと書き込みやすいし、さっき高瀬委員長も言った、振り返りもできるって形があると思いますんで、Gakken か東京書籍のどちらかがいいんではないかなというふうに思います。

【教育長】 ありがとうございます。他いかがでしょうか。新藤委員。

【新藤委員】 私は Gakken のほうを推薦したいというふうに思います。先ほどの質疑にもありましたけども、心の問題についての扱いは他社に比べて非常に充実しているというふうに考えました。今、大きな課題であります、この問題について大きく取り上げていくことが他教科との関連も強化できるというふうに思っておりますので、その意味でも子どもに手を差し伸べていく、いろんな形がやっぱり可能性として広がっていくのかなというふうにも考えまして、私は Gakken を推薦したいというふうに思います。

【教育長】 ありがとうございます。他いかがでしょうか。よろしいですか、Gakken という形で。では、保健については Gakken でお願いいたします。

次に、英語についてお願いいたします。新藤委員。

【新藤委員】 すみません。私は單元ごとに活動が分かりやすく配置されていて、学校行事なんか非常に子どもたちの学校生活に合ったテーマを取り上げているという点で、教育出版を推薦したいというふうに思います。他の教科書に比べて親しみやすいなということも感じましたし、そのことが子どもたちが英語を学ぶ楽しさに広がりを持たせていくということにもつながっていくかなというふうに考えますので、ぜひ教育出版ということで考えたいなというふうに思ってます。

【教育長】 ありがとうございます。他いかがでしょうか。野口委員。

【野口委員】 それぞれ工夫がどの教科書もされているんですけども、ちょっと紙面をぱっと見た時の印象として、東京書籍、教育出版、いずれも分かりやすいなと感じました。また、東京書籍は本市の中学校で使用している教科書でもあるため、そういったつながりができるというメリットはあるかと思います。教育出版は、登場人物に車椅子のキャラクターが出るなど、

多様性への理解の工夫が感じられますので、それぞれに良さがあるんですが。東京書籍、教育出版、この2社のどちらかを推したいかなと感じました。以上です。

【教育長】 ありがとうございます。東京書籍あるいは教育出版というようなお話がありました。他はいかがでしょう。宇田委員。

【宇田委員】 今お話ありました、やっぱり車椅子のキャラクターがあるってとてもいいことだと思います、教育出版で。教育出版は、話すこと、スピーチ、それからやりとり、インタラクションのところでも、割と子どもたちが何をどうやっていけばいいのか、分かりやすく指示している感じがあります。ですから、そういったところでいくと教育出版は一步出てるかなという感じがしています。

【教育長】 ありがとうございます。他の委員の皆さん、いかがでしょう。

【教育長】 それでは、総合的にお話伺ってみますと、教育出版ということで英語を採択したいと思いますが、英語は教育出版を採択するということがよろしいでしょうか。

(「異議なし。」の声あり)

【教育長】 ありがとうございます。

次に、道徳について御意見をお願いいたします。渡辺委員。

【渡辺委員】 道徳って難しいと思うんですよ。子どもと先生のほうの理解もあわせて考えた場合、光村図書は実は3年生からの教科書の最初の話の下の部分に、帯のように道徳の学び方というのが書いてありました。

道徳の時間では教材を通じて何をどのように考えればいいのか、どのように学べばいいのか、子ども・先生が分かるようになっていて非常にいいな、というふうに思いました。以上です。

【教育長】 ありがとうございます。他はいかがでしょう。加藤委員。

【加藤委員】 渡辺委員のお話と比べると、ちょっと感覚的なことになってしまうんですけども、道徳はやっぱり子どもの心を育てる上で特に大切な授業だと思っています。子どもの心を育てるには、読んで感動し、心を揺さぶられるような、できればきれいなお話がいいなと思っています。どの教科書にもそれにふさわしいお話が載っていると思ったんですけども、東京書籍や光村図書出版には『花さき山』や『手品師』など、心に響く、昔から名作と呼ばれている作品が非常に読みやすく構成されていると感じました。特に光村図書出版の『花さき山』は、挿絵が大きすぎず、物語そのものに没頭できるような感じを受けたんですね。改行も、お話の流れに沿って改行されていて読みやすいと思いました。そのようなところから、子どもた

ちが物語に読み浸れるだけじゃなく、深く考えることもできるのではないかっていうふうに思いました。

【教育長】 ありがとうございます。他いかがでしょうか。野口委員。

【野口委員】 先ほどもちょっと意見言わせていただきましたけれども、スマホ、タブレットに触れている子どもが多いので、情報モラルの教育についての記載っていうのは必須かと考えています。また、子どもたちが興味・関心を持てるようにということで、漫画のような形式を取り入れている会社は何社かありましたけれども、こういうのも大事かなと思っています。特に低学年、中学年、高学年で1作品ずつ計3本、光村図書さんは入っているということと、またイラストの雰囲気も全部に共通しているというところから、光村図書がいいのではないかと感じました。以上です。

【教育長】 いかがでしょうか。私も全く同感に感じたところでございます。それでは、道徳については光村図書出版とすることで、よろしゅうございましょうか。ありがとうございます。それでは、道徳については光村図書出版といたします。

暫時休憩いたします。

【教育長】 休憩前に引き続き、会議を開きます。それでは、福生市立小学校令和6年度使用教科用図書の協議を踏まえまして、教育総務課長、結果について確認をお願いします。大楠課長。

【教育総務課長】 それでは、確認をさせていただきます。種目、発行者の順に確認をさせていただきます。なお、書名につきましては省略をさせていただきます。

国語、光村図書出版。書写、光村図書出版。社会、教育出版。地図、帝国書院。算数、東京書籍。理科、東京書籍。生活、教育出版。音楽、教育芸術社。図画工作、開隆堂出版。家庭、東京書籍。保健、Gakken。英語、教育出版。道徳、光村図書出版。以上でございます。

【教育長】 委員の皆さま、いかがでしょうか。御確認いただけましたでしょうか。

それでは、お諮りいたします。議案第34号、福生市立小学校令和6年度使用教科用図書につきましては、以上のとおりに採択したいと思っておりますが、御異議ございますか。

(「異議なし。」の声あり)

【教育長】 御異議なしと認めます。よって、議案第34号については採択されました。

次に、日程第3、議案第35号、福生市立小・中学校特別支援学級令和6年度使用教科用図書の採択についてを議題といたします。吉本主幹より内容説明をお願いいたします。吉本主幹。

【教育部主幹】 それでは、議題第 35 号、福生市立小・中学校特別支援学級令和 6 年度使用教科用図書の採択について御説明申し上げます。

資料 1 「福生市立小・中学校特別支援学級令和 6 年度使用教科用図書一覧」を御覧ください。こちらに示してございます福生第一小学校、福生第二小学校、福生第一中学校に設置をしています特別支援学級の児童・生徒が令和 6 年度に使用する教科用図書について、御審議賜り、採択していただきたく存じます。

それでは、選定に関わる経緯等について御説明申し上げます。学校教育法第 34 条第 1 項には、小学校においては文部科学省の検定を経た教科用図書又は文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を使用しなければならないと定められております。このことは、中学校においても同様の内容が示されております。そして、小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書については、同法の附則第 9 条において、第 34 条第 1 項に規定する教科用図書以外の教科用図書を使用することができると定められております。

このことを踏まえまして、令和 5 年 4 月 21 日の教育委員会定例会で御報告申し上げました福生市立学校令和 6 年度使用教科用図書採択要領に基づきまして、教科用図書選定協議会及び調査委員会を設置し、特別支援学級で使用する教科用図書について調査研究を行いました。

調査研究を進めるに当たっては、特別支援教育に関して専門的な知識を有する教員を調査委員会の委員とし、それぞれの学級に在籍する児童・生徒の状況に応じて作成された個別支援計画に基づいて、適切な教科用図書に関わる調査研究を行っていただいております。その調査研究の結果は、資料 2 「選定協議会報告」及び資料 4 の「調査研究資料」としてまとめてございます。なお、資料 3-1、3-2、及び資料 5 につきましては、これら図書の選定理由一覧となっております。

次に、今回、選定をいたしました一般図書の冊数について御説明申し上げます。小学校特別支援学級では、生活は 7 社から 14 冊、国語は 3 社から 6 冊、書写は 3 社から 8 冊、算数は 3 社から 8 冊、保健は 4 社から 5 冊、英語は 1 社から 2 冊、道徳は 2 社から 3 冊、以上を選定してございます。続いて、中学校特別支援学級では、書写は 1 社から 1 冊、社会は 2 社から 2 冊、理科は 1 社から 1 冊、技術・家庭の技術は 1 社から 1 冊、英語は 1 社から 1 冊、道徳は 1 社から 1 冊、以上を選定してございます。

特別支援学級におきましては、児童・生徒一人一人の実態に応じた教科用図書を採択する必要があることから、全ての教科用図書について御配慮賜りますようお願い申し上げます。以上でございます。

【教育長】 内容説明、終わりました。これより質疑に入ります。いかがでしょうか。新藤委員。

【新藤委員】 今、御報告もありましたけれども、小学校の子どもたちの一人一人の個別支援計画、これに踏まえて調査された図書だというふうに理解できましたので、この報告のとおりで良いというふうに思います。

【教育長】 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。野口委員。

【野口委員】 私も同じ意見なのですが、特別支援学級に通う子どもたちにとって、学習への興味・関心を持つ図書であるということが最も重要だと思います。子どもたちと普段から接しておられる先生方が十分考慮して選択されたことでもあり、また調査委員会での検討も十分になされているということですので、本案のとおりでよろしいかと私も思います。以上です。

【教育長】 ありがとうございます。他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、質疑を終わります。

お諮りいたします。議案第 35 号、福生市立小・中学校特別支援学級令和 6 年度使用教科用図書につきましては以上のとおり採択したいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし。」の声あり)

【教育長】 御異議なしと認めます。よって、議案第 35 号については採択されました。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。これをもちまして令和 5 年第 1 回福生市教育委員会臨時会を終了いたします。長時間ありがとうございました。